

2021年度事業報告書

一般財団法人川崎教職員会館

I 一般財団法人川崎教職員会館の維持運営に関すること。

(1) 会費の徴収

会費として、一人月額400円を徴収し、会館運営及び会館建設資金に充てました。

(2) 会館の利用

① 事務室は、川崎市教職員組合、川崎教育文化研究所、川崎市公立学校管理職組合、有限会社川福共に賃貸しました。

② 会議室は、会員等の利用に応じました。

II 教職員の教養向上に関すること。(教養向上事業)

(定款第4条第2項)

(1) 教育研究活動の推進と教育研究・実践記録集の作成

「21世紀の川崎の教育を創造する研究会」実行委員会に参加し、教育研究活動を推進しました。2021年度は、コロナ禍により、各学校で来年度へ向けて継続した研究・研修としました。研究活動のまとめとして「わたしたちの一実践」を作成し、各学校へ配布しました。

・21研地区研究会 コロナウイルス感染拡大防止の観点から、Webを活用した各学校での開催としました。

・21研全市研究会 全体会
コロナウイルス感染拡大防止の観点から講演会のみWeb開催とし、意見交流会は中止としました。

(2) 教職員の自主的研究・研修の助成

① 小・中・高・特各校種の教職員の交流をはかり、相互理解を増進するため、中学校ブロック単位の研修会に対し、助成しました。開催したブロックに、1万円を交付しました。

(28中学校ブロック、90校)

② 事務職員が自主的に行っている研修に助成しました。

・開催日 2022年3月16日(水) 参加人数 30名

(3) 教育文化作品展の開催

写真芸術についての教職員の意欲を喚起し、写真を通して子どもの表情から教育の実態などを探るため、教育文化作品展を開催しました。 共催：(一財)川崎市立学校教職員互助会

・11月12日(金)～11月24日(水)

会館とどろき 1階ギャラリー

出展者(25人) 作品(25点)

(4) 国際教育交流事業の助成

川崎市およびその姉妹友好都市における教育の現状と課題、その課題解決への試みなど交流するとともに、21世紀の教育のあり方について教育交流を通して、相互交流と友好の増進をはかるため川崎市姉妹友好都市国際教育事業に助成しました。助成金額20万円

Ⅲ 教職員の福祉厚生に関すること。(福祉厚生事業)

(定款第4条第3項)

(1) 教職員体育大会関係事業の後援、助成

- ① 川崎市教職員各種体育大会：コロナ禍により中止となりました。
- ② 神奈川県教職員各種スポーツ大会：コロナ禍により中止となりました。
- ③ 川崎市教職員運動会：コロナ禍により中止となりました。

(2) 各種レクリエーション事業の開催、助成

- ① 全市ボウリング大会の開催
コロナウイルス感染拡大防止の観点から、全市ボウリング大会は中止としました。

(3) 図書交換コーナーの運営

川崎市教育会館に設置した図書交換コーナーについては、引き続き職員団体に管理運営を委託し、年1回運営に関する報告を受けました。

2021年度のカンパ金は、180円

(4) 教職員向け税務相談・法律相談の実施

① 税務相談について

税理士と顧問契約を結び、教職員の税務相談を行いました。

・電話相談0件／面談0件

② 法律相談について

職員団体の顧問弁護士に教職員が法律相談できるよう、職員団体に依頼しました。

・電話相談4件／面談0件

(5) 新規採用予定教職員を対象とした賃貸住宅紹介事業

2022年度新規採用予定教職員を対象に、不動産業者による優良物件の紹介を目的とした賃貸住宅紹介事業を行いました。

新規採用者以外にも賃貸紹介を行いました。

(6) ラブリー共済事業の実施

会員に死亡・障害など万一の事故が発生したときの本人・家族の生活資金を支援することを目的としたラブリー共済事業を実施しました。(有)川福共に業務委託し、明治安田生命を引受会社として事業を推進しました。22年3月現在で、3145人が加入しています。

(7) 教員免許状更新講習事業の実施

(一財)川崎教職員会館の会員の教員免許状更新講習について、その利便性をはかるため、星槎大学主催の教員免許状更新講習の後援と募集事務手続きを行いました。受講者88名

IV その他財団の目的を達成するための必要な事業 (教育文化振興事業)

(定款第4条第1項及び4項)

(1) 主催、共催事業

① 青少年地域間交流事業

川崎市の子ども達が、各地の豊かな自然とそれに立脚した産業や文化にふれ、生活体験を広げ、当該地域の子どもとの友好交流を深めるために「ふれあいサマーキャンプ」の実施計画をしていましたが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度の事業の実施は中止としました。

② 親子映画会事業

健やかで、心豊かな子どもを育てるのにふさわしい文化活動の一環として、平和・人権・多文化共生・環境を基調とした「親子映画会」を市内のこども・保護者等の市民を対象に市内7ヶ所の市民館で夏休みに計画していましたが、コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度の事業の実施は中止としました。

③ 市民文化講演会事業

市民の教育文化向上をはかるため、保護者・市民・教職員を対象に、「市民文化講演会」を開催しました。コロナ禍の為、会場人数制限及びWebを併用し開催しました。

「誰だって誰かのヒーローになれるーダウン症子育て講演会ー」

講師：広岡 真生さん(川崎市職員)

2022年2月4日(金) 18時30分～19時45分

会場：川崎市総合自治会館 大会議室3

「子ども参加のこれまでと、これから…」

講師：前川 友太さん(かわさき子どもの権利フォーラム代表)

2022年2月10日(木) 18時30分～19時45分

会場：川崎市総合自治会館 大会議室3

④ こどもニュース発行事業

小学校5・6年生、中学校1・2年生を対象に、年3回(7月、12月、3月)「川崎こどもニュース」を発行しました。今年度は、川崎市子どもの権利に関する条例にかかわる情報や川崎市子ども会議の活動内容を中心に紹介しました。また、小学校5・6年生、中学校1・2年生を対象に、サマーキャンプのお知らせを発行しました。年1回(5月)

⑤ 教職員互助会文化事業

子ども・保護者・市民・教職員を対象に、音楽・文化などの事業を（一財）川崎市立学校教職員互助会と共催での開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。

（2）助成事業

① 外国につながる児童・生徒の就学支援事業

川崎市内に在住し、外国につながる児童・生徒・保護者のうち、さまざまな事情から就学に支援を必要としている者（年度中の就学を含む）への就学支援事業として、学用品等必要な物品（ランドセルや学生服等）の貸与等を行っている社会福祉法人「青丘社」に対して、当該物品に関する修繕費を助成しました。 助成金額 5万5千円

② ボレロ演奏会助成事業

ボレロを楽しむ会実行委員会が主催する「少年の祭典ボレロ」演奏会に対して助成しました。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から公開での演奏会は行わず、パート別に演奏を録音・録画し、映像配信するなど工夫を凝らし実施しました。（参加費：無料）

収録日・会場 2021年12月12日（日） カルッツかわさきホール

助成金額 40万円 参加人数延べ 200名

③ 教育支援事業

教職員の退職後の社会貢献、生きがいづくり、豊かな子どもの時代を創造し、地域における教育力の向上をめざすために、退職教職員を中心に、児童・保護者・教職員を対象に教育相談事業「やまびこ相談」、学校区単位での教育支援のための人材情報収集、学校教育支援としてのボランティア派遣などを行う川崎市退職教職員の会の「教育支援室」に対し助成しました。

助成金額 70万円

（3）各種出版事業

① 教育総合誌「形成」を出版しました。編集については、川崎教育文化研究所が担当しました。

発行部数は、280部、学校及び関係機関に配布するとともに、教職員等を対象に購読をすすめました。

・「形成」第31号

特集：「コロナ禍の学校2021」／「川崎のGIGAスクール構想」等

② 各種の講演会、得難い体験、教職員や市民の教育についての主張、地域性のある研究などの発表を「川崎ポケット文庫」として発刊し、教職員を中心に購読をすすめました。

・ポケット文庫No. 31

「子ども参加のこれまでとこれから」

かわさき子どもの権利フォーラム 前川 友太

市民文化講演会 記録

③ 会員の応募による研究、創作、実践記録などを教文研双書（単行本）として発刊しました。

・No.77 「学級通信を使ったクラスづくりのポイント20」

(4) ホームページの作成

当法人の事業内容、各種事業の宣伝など情報開示に努めました。